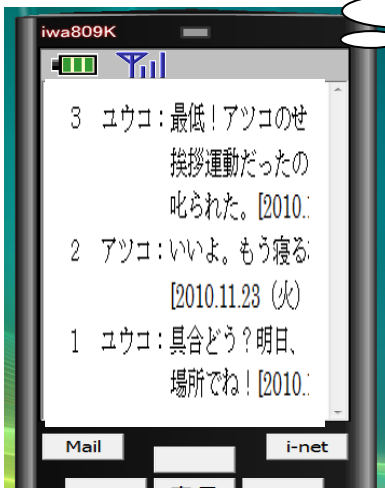


実施日 ____月____日 (____)

____年 ____組 ____番 氏名 _____

なぜ、2人はケンカになってしまったのだろうか？

アツコは風邪をひいて学校を休んだ。ユウコはアツコが学校を休んだことを心配して、具合を聞き、明日の約束をした。
ところが、2人はケンカに!!



拡大

- 5 ユウコ: はあ〜。あんたのせいでしょ!! もう、許さない! [2010.11.24 (水) 17:20]
- 4 アツコ: えっ? なんで遅刻したの? [2010.11.24 (水) 17:13]
- 3 ユウコ: 最低! アツコのせいで遅刻した。今日は挨拶運動だったのに……。●田先生に叱られた。 [2010.11.24(水)16:57]
- 2 アツコ: いいよ。もう寝るね。ありがとう! [2010.11.23 (火) 21:48]
- 1 ユウコ: 具合どう? 明日、7時30分にいつもの場所でね! [2010.11.23 (火) 21:23]

設問1 なぜ、2人はケンカになってしまったのでしょうか？

設問2 説明を聞いて分かったことや大切だと思ったことを書きましょう。

【キーワード】 ・文字による伝達 ・短い文 ・誤解 ・相手の立場

●「なぜ、2人はケンカになってしまったのだろう？」（詳細編）

ユウコは、アツコが学校を休んだので心配している。具合の確認と明日一緒に登校しようという誘いであった。そのため、ユウコはアツコからの「いいよ」を、明日は登校できるものと判断した。

一方、アツコはユウコに対して、心配してくれていることへ感謝はしているが、明日の登校については、NOの「いいよ」という意味であった。また、捉え方によっては、具合に対して昨日より「いいよ」という意味で、7:30に行くことへのOKの「いいよ」ではなかった。

「いいよ」の表現がそれぞれの置かれた状況でどちらともとれる言葉であり、文字だけの伝達ではうまく伝わらない一つの例である。

この場合は、体調不良時の連絡なので、ユウコからすると何回も連絡することは避けたいという気持ちがはたらくが、誤解を避けるためには、直接電話で確認する必要であった。ユウコの思いやりがかえって2人の仲を悪くする結果となってしまった。

●「そんなつもりじゃなかったのに・・・」

そんなつもりじゃなかったのに、何気なく書き込んだ言葉が誤解され、軽い気持ちで送ったメールが思いがけなく相手を傷つけて、友達とケンカになったり、気まずい思いをしたりということがよくあります。

「いいよ」という言葉は、OKという意味とNOという意味の2つがあります。また、「おかしい」という言葉は、「おもしろい・笑える」という意味と「変だ・うたがわしい」という意味にも取れます。

また、面と向かって相手の表情が分かれば何てことのない言葉でも文字だけだときつく感じる言葉もあります。例えば、「バッカじゃないの？」は、文字だけをみると相手が怒っているように感じます。しかし、笑いながら「バッカじゃないの？」と親しみを込めている場合もあります。

文字による伝達（やりとり）で気持ちをうまく伝えるコツは、「言葉を丁寧にする」ことです。さらに、あなたの声や表情のかわりに、気持ちを説明してくれる言葉を加えることで、誤解のないコミュニケーションができるようになります。

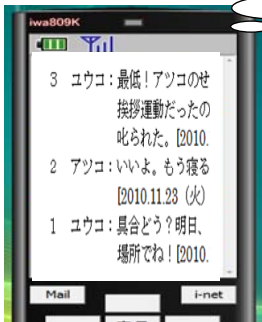
【解説】メールや掲示板など文字による伝達では、送る側が考えてもいないような伝わり方をし、別の意味に受け取られてしまうことがある。直接会って話をしたり、電話で会話したりする場合は、表情や声の抑揚から相手の気持ちを理解できるが、メールや掲示板ではちょっとした言葉の遣いからトラブルに発展することがある。こういった特徴をしっかりと理解した上でメールや掲示板を利用し、**受け取る側の気持ちを考えて十分に言葉を吟味し、何度も読み返してから発信する必要がある。**また、受け取り側も**あいまいな表現でどちらにも意味が取れる場合は、しっかり確認する姿勢**が求められる。

【今日のポイント】	【文字伝達によるトラブル対処法】
<ul style="list-style-type: none"> ・文字による伝達は、表情や声の抑揚がないために、誤解が生じやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・誤解を受けないように、丁寧な言葉を遣い、何度も読み直し、確認してから発信すること。 ・保護者や先生に相談し、当事者どうしが直接会って、顔を見て話をする。

実施日 ____月__日() ____年__組__番 氏名_____

なぜ、2人はケンカになってしまったのだろうか？

アツコは風邪をひいて学校を休んだ。ユウコはアツコが学校を休んだことを心配して、具合を聞き、明日の約束をした。ところが、2人はケンカに!!



拡大

- 5 ユウコ: はあ〜。あんたのせいでしょ!!もう、許さない! [2010.11.24 (水) 17:20]
- 4 アツコ: えっ?なんで遅刻したの? [2010.11.24 (水) 17:13]
- 3 ユウコ: 最低!アツコのせいで遅刻した。今日は挨拶運動だったのに……。●田先生に叱られた。[2010.11.24(水)16:57]
- 2 アツコ: いいよ。もう寝るね。ありがとう! [2010.11.23 (火) 21:48]
- 1 ユウコ: 具合どう?明日、7時30分にいつもの場所だね! [2010.11.23 (火) 21:23]

設問1 なぜ、2人はケンカになってしまったのでしょうか？

アツコの「いいよ」をユウコは「7:30に来る」と捉えてしまい、ずっと待っていて遅刻してしまっただから。それぞれの置かれた立場で「いいよ」の捉えが違ってしまった。

設問2 説明を聞いて分かったことや大切だと思ったことを書きましょう。

【キーワード】 ・文字による伝達 ・短い文 ・誤解 ・相手の立場

指導のねらい

- ・文字による伝達の特徴を理解させ、トラブルにならない使い方をさせる。

展開

- 1 プリントを配布する。
- 2 実施日、名前を記入させる。
- 3 場面の確認をする。
 - ・吹き出しを教師が読む。
 - ・書き込みを生徒に読ませる。
- 4 設問1を考えさせる。
- 5 何人かに指名する。
- 6 正答例を伝える。
- 7 【解説】を説明する。
- 8 設問2を記入させる。

「印象に残ったこと」を書くように一言加える。書き終わった人は、裏面を読んでいるように指示する。
- 9 フリップでポイントを確認する。
- 10 プリントを回収する。

【解説】 ユウコは、アツコが学校を休んだので心配している。具合の確認と明日一緒に登校しようという誘いがあった。そのため、ユウコはアツコからの「いいよ」を、明日は登校できるものと判断した。

一方、アツコはユウコに対して、心配してくれていることへ感謝はしているが、明日の登校については、NOの「いいよ」という意味であった。また、具合に対して昨日より「いいよ」という意味にも取れ、7:30に行くことへのOKの「いいよ」ではなかった。

「いいよ」の表現がそれぞれの置かれた状況でどちらともとれる言葉であり、文字だけの伝達ではうまく伝わらない一つの例である。

【今日のポイント】

- ・文字による伝達は、送り手が考えてもいないような伝わり方をすることがある。
- ・文字による伝達は、表情や声の抑揚がないために、誤解が生じやすい。

【文字伝達によるトラブル対処法】

- ・誤解を受けないように、何度も読み直し、確認してから発信すること。
- ・トラブルになった時は、保護者や先生に相談し、当事者どうしが直接会って、顔を見て話をする。

●「なぜ、2人はケンカになってしまったのだろう？」（詳細編）

ユウコは、アツコが学校を休んだので心配している。具合の確認と明日一緒に登校しようという誘いであった。そのため、ユウコはアツコからの「いいよ」を、明日は登校できるものと判断した。

一方、アツコはユウコに対して、心配してくれていることへ感謝はしているが、明日の登校については、NOの「いいよ」という意味であった。また、捉え方によっては、具合に対して昨日より「いいよ」という意味で、7：30に行くことへのOKの「いいよ」ではなかった。

「いいよ」の表現がそれぞれの置かれた状況でどちらともとれる言葉であり、文字だけの伝達ではうまく伝わらない一つの例である。

この場合は、体調不良時の連絡なので、ユウコからすると何回も連絡することは避けたいという気持ちがはたらくが、誤解を避けるためには、直接電話で確認する必要であった。ユウコの思いやりがかえって2人の仲を悪くする結果となってしまった。

●「そんなつもりじゃなかったのに・・・」

そんなつもりじゃなかったのに、何気なく書き込んだ言葉が誤解され、軽い気持ちで送ったメールが思いがけなく相手を傷つけて、友達とケンカになったり、気まずい思いをしたりということがよくあります。

「いいよ」という言葉は、OKという意味とNOという意味の2つがあります。また、「おかしい」という言葉は、「おもしろい・笑える」という意味と「変だ・うたがわしい」という意味にも取れます。

また、面と向かって相手の表情が分かれば何てことのない言葉でも文字だけだときつく感じる言葉もあります。例えば、「バッカじゃないの？」は、文字だけをみると相手が怒っているように感じます。しかし、笑いながら「バッカじゃないの？」と親しみを込めている場合もあります。

文字による伝達（やりとり）で気持ちをうまく伝えるコツは、「言葉を丁寧にする」ことです。さらに、あなたの声や表情のかわりに、気持ちを説明してくれる言葉を加えることで、誤解のないコミュニケーションができるようになります。

【解説】メールや掲示板など文字による伝達では、送る側が考えてもいないような伝わり方をし、別の意味に受け取られてしまうことがある。直接会って話をしたり、電話で会話したりする場合は、表情や声の抑揚から相手の気持ちを理解できるが、メールや掲示板ではちょっとした言葉の遣いからトラブルに発展することがある。こういった特徴をしっかりと理解した上でメールや掲示板を利用し、**受け取る側の気持ちを考えて十分に言葉を吟味し、何度も読み返してから発信する必要がある。**また、受け取り側も**あいまいな表現でどちらにも意味が取れる場合は、しっかり確認する姿勢**が求められる。

【今日のポイント】	【文字伝達によるトラブル対処法】
<ul style="list-style-type: none"> ・文字による伝達は、表情や声の抑揚がないために、誤解が生じやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・誤解を受けないように、丁寧な言葉を遣い、何度も読み直し、確認してから発信すること。 ・保護者や先生に相談し、当事者どうしが直接会って、顔を見て話をする事。

【ポイント】

- 文字だけの伝達は、誤解が生じることがあるので、何度も読み返して言葉をよく吟味すること。
- 画面の向こう側には、不特定多数の「人」がいることを意識して、思いやりを持って利用すること。
- 掲示板でトラブルが生じたときは、時間をおいて冷静になることが大切。